

USB DACプロジェクト補足説明

2016年11月2日
匠コンピューター
中田宏

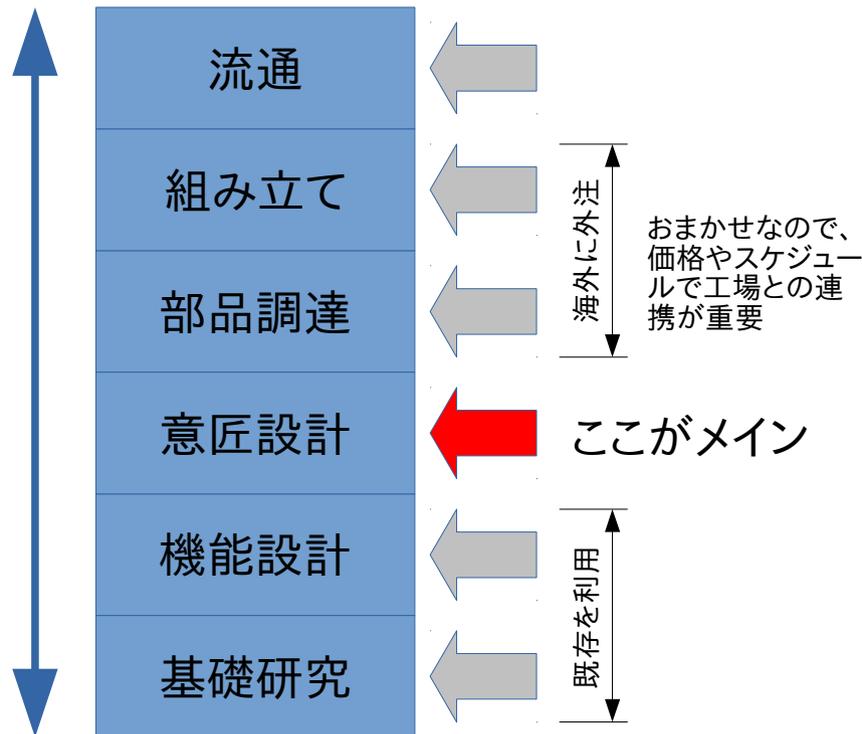
他のプロジェクトとの違い(1/2)

よく見かけるプロジェクト

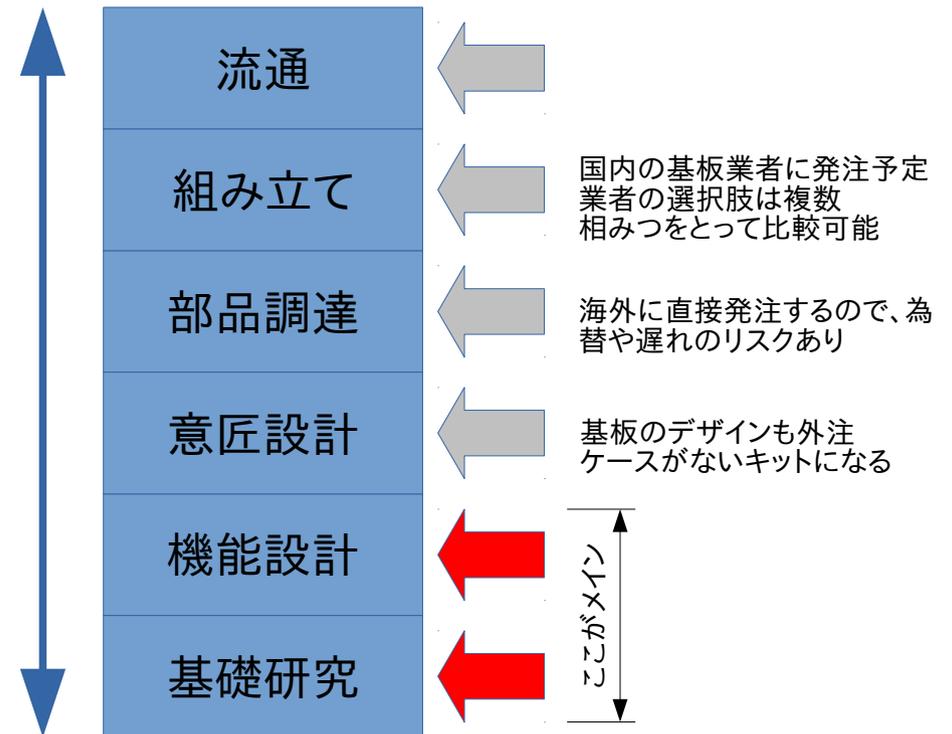
本プロジェクト

応用(後工程)

応用(後工程)



基礎(前工程)



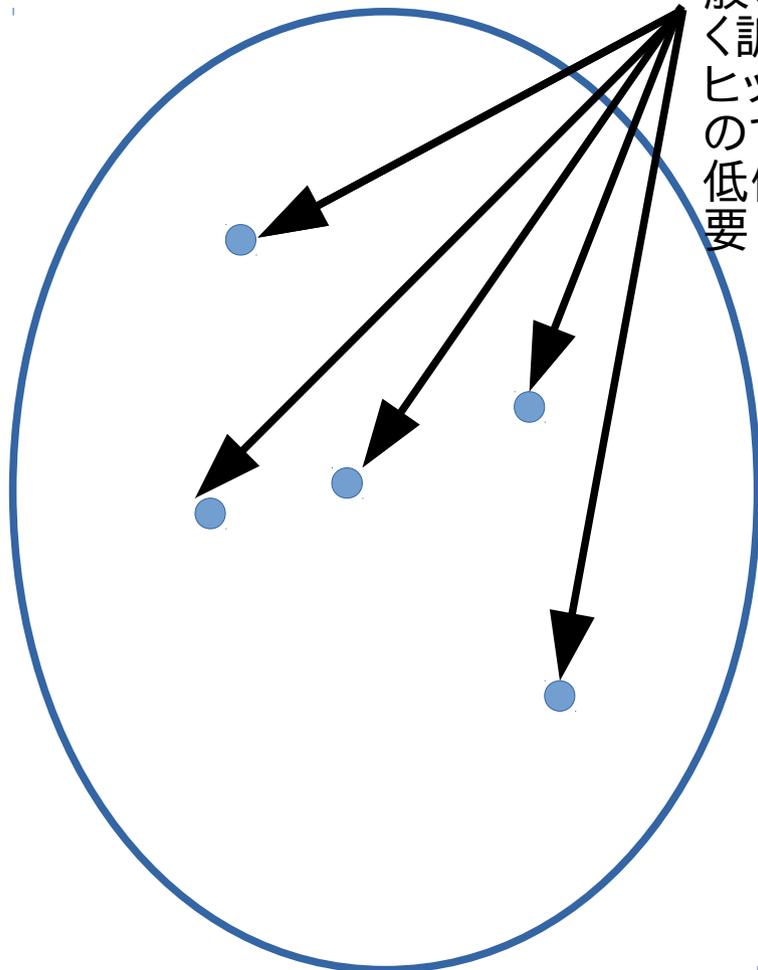
基礎(前工程)

他のプロジェクトとの違い(2/2)

- 最近のよくあるプロジェクトは、既存の技術、既存の機構を組み合わせて、新しい外見、新しい使い方を訴える
→付加価値を目指すサービス業の発想
デザインだけ変更する作り方では、スピード、価格、目立ち方で売上が左右される。スピードと価格が重要なので、プロジェクト発足時に工場での生産計画が立っていることが重要。
- 本プロジェクトは昭和のものづくりに回帰していて、新しい技術理論、基本性能の向上（従来にない高音質のオーディオ）が売り
→古き良き製造業の復活を目指す
従来にない製品を企画、製造するので、事前に生産計画の見積もりを工場に要求するのが難しい。
 1. 従来にないから工場側で見積もり作業が大変
 2. 見積もっておいて発注しないことを繰り返すと、信用を失うので乱発できない
 3. 見積もり段階で詳細情報を渡すと、工場経由でライバルに設計情報が盗まれる恐れがある（過去に経験あり）
 4. 量産試作にもコストがかかるので、事前作業としては実証モデルの製作が限界

購買ターゲットはニッチ層

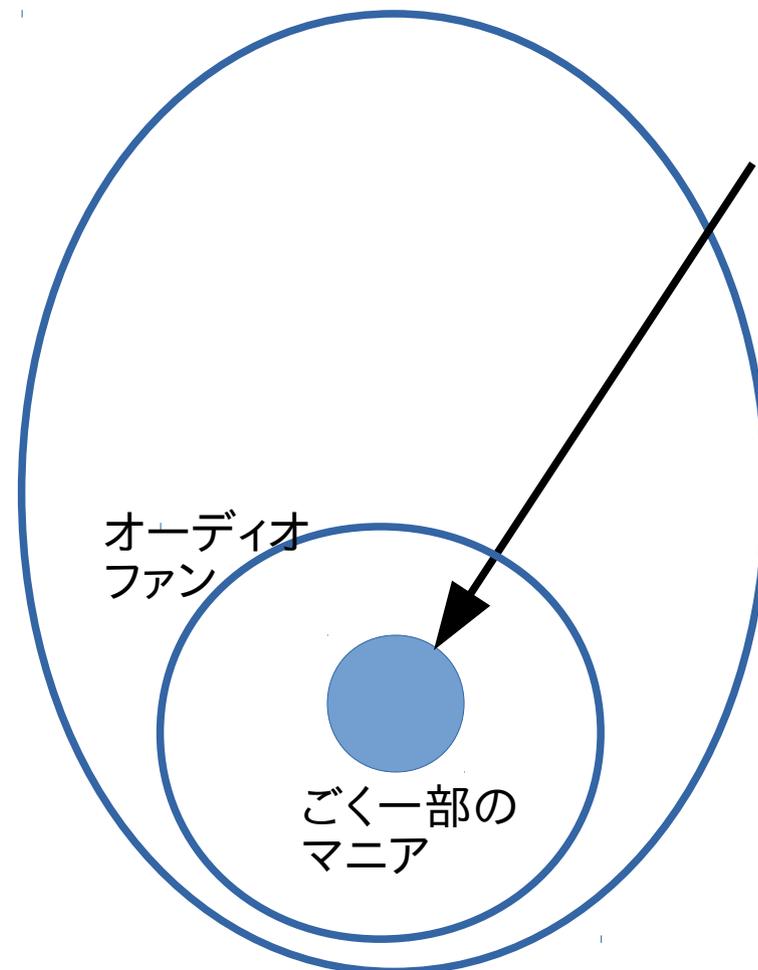
よく見かけるプロジェクト



世の中の一
般の人に広
く訴求して
ヒットを狙う
ので、宣伝と
低価格が重
要

世間一般の人

本プロジェクト



特定のグ
ループを狙
い撃ち
6月の研究
発表です
すでに楔を打
込んだつも
り
12月にダメ
押しする予
定
単価が高く
ても躊躇し
ない人たち
のはず

オーディオ
ファン

ごく一部の
マニア

世間一般の人